



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月31日

上場会社名 株式会社MARUWA 上場取引所 東 名  
 コード番号 5344 URL <https://www.maruwa-g.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神戸 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 及位 環 TEL 0561-51-0839  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	30,149	7.7	6,959	5.0	7,315	10.9	4,838	10.1
2018年3月期第3四半期	28,005	20.0	6,629	84.5	6,599	82.7	4,396	98.5

（注）包括利益 2019年3月期第3四半期 4,494百万円（△14.1％） 2018年3月期第3四半期 5,234百万円（226.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	391.50	—
2018年3月期第3四半期	355.63	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	62,192	52,898	85.1
2018年3月期	58,514	49,029	83.8

（参考）自己資本 2019年3月期第3四半期 52,898百万円 2018年3月期 49,029百万円

（注）第1四半期会計期間の期首から「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を適用し、表示方法の変更を行いましたため、2018年3月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2019年3月期	—	24.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	24.00	48.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,300	4.6	9,800	6.8	9,850	11.1	6,550	18.1	529.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	12,372,000株	2018年3月期	12,372,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	18,876株	2018年3月期	9,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	12,359,895株	2018年3月期3Q	12,362,683株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益や雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外の経済情勢は、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦の激化や、中国では設備投資抑制の動きや堅調だった個人消費に陰りが見えるなど、景気の先行きに対する懸念が高まってきており、今後の世界経済の先行きに対する不透明感が強まりました。

このような経済情勢の中、当社関連のエレクトロニクス市場は、車載の電装化や生産設備の自動化・省人化、AI・IoT関連など、次世代の成長市場向けにおける高付加価値品の需要は総じて底堅く推移しましたが、米中貿易摩擦に端を発した経済の不確実性が、世界経済の実体経済の減速に影響を及ぼす懸念が増加してまいりました。

当社グループにおいては、固有の材料特性や要素技術により差別化した製品を、成長市場の開拓や販売拡大に取り組んだことにより、各事業において堅調に推移しました。

以上の結果、売上高30,149百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益6,959百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益7,315百万円（前年同期比10.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,838百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益のそれぞれは、過去最高となった前年同期（2018年3月期第3四半期（累計））を上回り連続更新しました。

今後も、当社の中期的な成長戦略として取り組んでいる材料技術などのさらなる発展により、市場はますます拡大するものと考えております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①セラミック部品事業

当事業における市況は、米中貿易摩擦の激化による電気製品の消費意欲減少や生産調整、半導体生産設備の投資時期の見直しや受注の鈍化など、これまでの増加速度が緩やかになってまいりました。この市況環境の中で、当社は、車載関連やAI・IoTなど次世代の成長に向けた差別化製品の開発や開拓、拡販を行い、さらに中長期的に成長が期待できる新たなセラミック素材の開発に重点を置いた活動をしてまいりました。

その結果、売上高24,145百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益7,241百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

#### ②照明機器事業

当事業における市況は、公共関連では道路やトンネル内のLED照明への交換需要が全国で拡大しており、宿泊施設関連では演色性を求める差別化された製品需要が続いております。この市況環境の中で、当社が注力してきた競争力のある差別化ハイエンド照明機器が増加し収益が出る体制になりました。

その結果、売上高6,004百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益493百万円（前年同期比48.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期における連結の総資産は62,192百万円となり、前期末と比較して6.3%増加しました。

負債は9,293百万円となり、前期末と比較して2.0%減少しました。純資産は52,898百万円となり、前期末と比較して7.9%増加しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米中の貿易摩擦の激化、地政学リスクの表面化など、今の世界経済は大きな時代の変化の流れにあるものと考えております。その中でも、当社が進めてまいりました量を追うのではなく、素材を生かした新規プロジェクト計画への探求が質として徐々に数字として現れており、中長期的な成長に期待が持てます。

人類が経験した事がない大変革時代、素材を活かした市場へのアプローチを軸に、積極的な投資と収益重視に向けた取り組みを行っており、来期に向けて大きな収益の柱になるものと期待しております。

以上の様な経済環境を鑑み、2018年4月27日に公表しました2019年3月期の通期連結業績予想は据え置き、業績予想の変更が生じた際に速やかに公表する所存であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,994,568	21,711,149
受取手形及び売掛金	9,790,135	10,247,875
電子記録債権	1,047,980	1,282,873
商品及び製品	2,220,883	3,269,379
仕掛品	1,817,145	2,185,853
原材料及び貯蔵品	3,630,476	4,310,665
その他	1,171,284	1,224,325
貸倒引当金	△1,670	△1,740
流動資産合計	41,670,803	44,230,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,159,776	11,604,116
減価償却累計額	△6,133,121	△6,388,471
建物及び構築物（純額）	5,026,654	5,215,644
機械装置及び運搬具	19,595,623	20,457,414
減価償却累計額	△15,542,570	△16,167,078
機械装置及び運搬具（純額）	4,053,052	4,290,335
土地	3,943,218	3,942,195
建設仮勘定	389,265	1,160,478
その他	4,163,793	4,502,448
減価償却累計額	△3,483,672	△3,678,959
その他（純額）	680,121	823,489
有形固定資産合計	14,092,312	15,432,144
無形固定資産		
のれん	—	262,785
その他	274,885	279,980
無形固定資産合計	274,885	542,766
投資その他の資産	2,476,673	1,986,972
固定資産合計	16,843,870	17,961,882
資産合計	58,514,674	62,192,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,428,784	2,419,018
電子記録債務	1,456,612	1,950,146
未払法人税等	2,061,684	741,216
賞与引当金	542,637	398,537
役員賞与引当金	63,000	31,500
環境対策引当金	3,436	—
その他	2,079,222	2,908,487
流動負債合計	8,635,378	8,448,906
固定負債		
繰延税金負債	449,309	492,647
退職給付に係る負債	82,126	—
その他	318,304	352,346
固定負債合計	849,740	844,993
負債合計	9,485,118	9,293,900
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,646,720	8,646,720
資本剰余金	11,996,407	11,994,350
利益剰余金	29,048,238	33,318,499
自己株式	△77,131	△132,111
株主資本合計	49,614,235	53,827,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,404	115,953
為替換算調整勘定	△751,083	△1,045,045
その他の包括利益累計額合計	△584,678	△929,092
純資産合計	49,029,556	52,898,365
負債純資産合計	58,514,674	62,192,265

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	28,005,826	30,149,733
売上原価	15,820,021	16,948,543
売上総利益	12,185,805	13,201,190
販売費及び一般管理費	5,556,595	6,242,188
営業利益	6,629,209	6,959,002
営業外収益		
受取利息	23,708	21,212
受取賃貸料	54,668	57,211
為替差益	—	250,261
その他	27,017	83,028
営業外収益合計	105,394	411,714
営業外費用		
支払利息	7	—
為替差損	99,867	—
投資不動産賃貸費用	31,162	45,143
その他	4,123	9,743
営業外費用合計	135,160	54,887
経常利益	6,599,444	7,315,829
特別利益		
固定資産売却益	8,162	4,043
負ののれん発生益	8,199	—
投資有価証券売却益	—	3,469
特別利益合計	16,362	7,512
特別損失		
固定資産除売却損	57,982	5,354
事業整理損	83,248	—
退職給付費用	—	51,447
特別損失合計	141,231	56,801
税金等調整前四半期純利益	6,474,575	7,266,540
法人税、住民税及び事業税	1,971,317	2,223,395
法人税等調整額	106,657	204,222
法人税等合計	2,077,974	2,427,618
四半期純利益	4,396,601	4,838,922
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,396,601	4,838,922

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	4,396,601	4,838,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87,824	△50,450
為替換算調整勘定	750,142	△293,962
その他の包括利益合計	837,967	△344,413
四半期包括利益	5,234,568	4,494,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,234,568	4,494,508



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,947,065	6,058,761	28,005,826	—	28,005,826
セグメント間の内部売上高 又は振替高	999	—	999	△999	—
計	21,948,065	6,058,761	28,006,826	△999	28,005,826
セグメント利益	7,101,490	332,689	7,434,179	△804,969	6,629,209

(注) 1. セグメント利益の調整額△804,969千円には、セグメント間取引消去△13,809千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△791,160千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,145,506	6,004,227	30,149,733	—	30,149,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,493	14,794	23,288	△23,288	—
計	24,153,999	6,019,022	30,173,021	△23,288	30,149,733
セグメント利益	7,241,686	493,877	7,735,564	△776,561	6,959,002

(注) 1. セグメント利益の調整額△776,561千円には、セグメント間取引消去△10,482千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△766,079千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため記載を省略しております。